

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

当院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った聴力検査結果を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や聴力検査結果を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	愛媛県における中耳手術前後の気骨導差の検討
研究機関名	愛媛大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
試料・情報の提供を行う研究機関の研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 (職名) 教授 (氏名) 羽藤直人
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2026 年 5 月 21 日
対象となる方	2014 年 1 月から 2023 年 12 月に当院で鼓室形成術受けた方のうち手術前と手術 1 年後に聴力検査を行った患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、合併症、既往歴、身体所見、手術適応病名、鼓室形成術の分類型、聴力検査結果等
研究の概要 (目的・方法)	慢性中耳炎などの中耳疾患では、耳だれや鼓膜穿孔などに対する改善を目的として鼓室形成術を行います。手術では音を伝える組織の再建（伝音再建）を行いますが、病変が高度な場合には正常な伝音再建が困難となり、術後聴力は期待していたほどの改善が得られない場合があります。当科ではそのような患者さんに対して聴力改善用のデバイスを埋め込む手術をすることで聴力改善を試みる研究を行っています。近年行われた手術の伝音再建形式と、手術前後の聴力変化を調査し伝音再建効果の現時点での状況および限界を把握することを目的としています。この研究によって、手術後の患者さんにより適したデバイスの開発につな

	がることが期待されます。
個人情報の保護 について	この研究で収集される情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。 また、保管される情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科 羽藤直人 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5366

【共同研究について】

この研究は、以下に記載の他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんの試料・情報等は、氏名や住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、記録媒体を主管機関である愛媛大学医学部附属病院に提供します。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【研究組織】

研究代表者	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教 中田貴大
既存試料・情報の提供のみを行う機関	（研究機関名） 愛媛県立中央病院 耳鼻咽喉科 本多伸光 松山赤十字病院 耳鼻咽喉科 篠森裕介 市立宇和島病院 耳鼻いんこう科、頭頸部外科 吉田正 鷹ノ子病院 耳鼻咽喉科 兵頭純 愛媛県立新居浜病院 耳鼻咽喉科 西田直哉